

テクノカラーSK施工要領書

(厚塗り用)



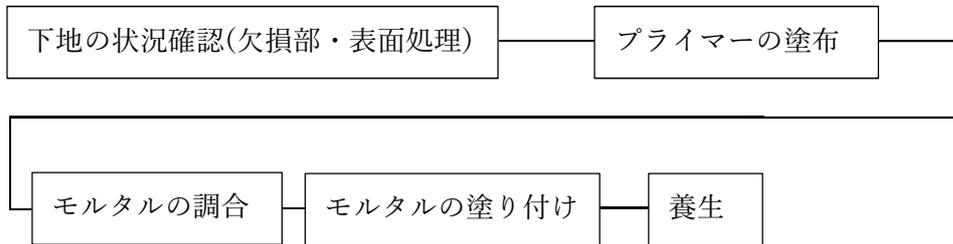
テクノスジャパン株式会社

1. 使用材料

行程	材料名	荷姿	調合	効果・用途
プライマー	アタックテックス7	18kg・5kg・1kg	原液で使用	吸水防止 接着増強
モルタル	テクノカラーSK	粉体：20kg	粉体：20kg 水：3.6kg※1	店舗床・土間 ガレージなど

※1 水は必ず水道水をご使用ください。

2. 施工方法及び施工手順



仕上げ塗りが完了後、暫く経過してから、再仕上げを行なうと色むらの原因となります。
仕上げた後は、絶対コテなどで仕上げ面に触れないでください！

① 下地の確認

下地の表面は、モルタルの付着を妨げる脆弱層やゴミ・ホコリ等の付着物の有無を確認してください。脆弱層や付着物がある場合は、施工に先立って、施工対象面を全面清掃してください。

② プライマー(テックス7)の塗布

モルタル施工対象面には吸水防止・背着増強のためテックス7を噴霧器・刷毛又はローラー刷毛で、躯体に塗り残しがないように均一に塗布してください。

(塗布量の目安：100~150g/m²)

プライマーは原液で使用し、刷毛及びローラーで塗布する場合は、くぼみに塗り残しがない様に注意してください。下地の吸い込みがはやい場合は、再度塗布してください。

③ テクノカラーSK の調合

(ア) プライマーの乾燥を指触確認してから、テクノカラーSK の調合を行ってください。

(イ) 練り混ぜ容器（ペール缶等）に所定の水量を入れ、テクノカラーSK の粉体を徐々に投入しハンドミキサーで3分間全体が均一になるまで練り混ぜてください。

(ウ) 練り混ぜ後3～5分程度静置し、30秒程度再度練り混ぜるとより安定した状態となります。

※ 2袋を一度に練り混ぜる等「モルタルミキサー」を使用する場合

A) 2袋分の水量の計算（計量）

B) 最初に粉体を1袋投入し、約1.5袋分の水を徐々に投入して攪拌してください。

C) 攪拌後、粉体の2袋目を投入し残りの水により、粘度を調整しながら3分間以上全体が均一になるまで、再度攪拌してください。

④ テクノカラーSK の塗布

(ア) モルタルが下地の凹部に詰まるようにコテにて十分に圧着させてください。

(イ) 凹部に圧着させた後、直ちに所定の厚さになるように塗りつけてください。

(ウ) 仕上げ厚を増やすためにテクノカラーSK を塗り重ねる場合は、硬化前に予めクシ目を入れ、硬化後にテックス7を塗布し、再度(ア)(イ)の工程を行ってください。

(エ) 表面仕上げは、コテにより押さえながら仕上げてください。

仕上げ塗りが完了後、暫く経過してから、再仕上げを行なうと色むらの原因となります。
仕上げた後は、絶対コテなどで仕上げ面に触れないでください！

☆とぎ出し仕上げ

(ア) 練り混ぜたテクノカラーSK に予めゴミ・ホコリ等を取り除いた天然石を投入して再度均一になるまで攪拌してください。

(イ) 攪拌完了後、下地の凹部に詰まるように圧着させながら、所定の厚みまで塗りつけてください。

(ウ) 翌日、表面をサンダー・砥石などでとぎ出しを行ってください。

(エ) とぎ出した時点では、表面にピンホールが出ますので0.5mmのフルイで「繊維」「珪砂」を取り除いたテクノカラーSK でペーストをつくり、表面にすり込んでください。

(オ) ペーストの硬化後、再度軽くとぎ出しを行ってください。

⑤ 養生

天候と気温にもよりますが、屋内で施工をする場合は24時間。屋外で施工する場合は48時間を目安に養生してください。

⑥ 施工上の注意

- テクノカラーSKは、既定の調合、塗布量及び施工方法を守ってください。
- 硬化養生中は急激な乾燥・凍結・降雨の影響が無いような養生環境を作ってください。
- 降雨の時・降雨が予想される時または高温下(35℃以上)及び低温下(5℃以下)では施工を避けてください。

⑦ 表面保護剤(テクノコート)を使用する場合

「表面保護剤 (テクノコート)」

☆用途・・・モルタル製品特有の白華抑制やテクノカラーのツヤ出し等

- テクノカラーが**完全に**硬化したことを確認し、表面のゴミ・ホコリ等を取り除いた後、原液を刷毛で均一に塗布してください。

(塗布量の目安：原液で50～100g/m²)

- 表面保護剤を塗布いたしますと表面に多少「光沢・ツヤ」が出ます。

★硬化後、白華(エフロレッセンス)や色むらが発生した場合の処置

「テクノカラーメンテナンス材(荷姿：10kg/set)」を上塗り頂く事を推奨致します。

— 参考手順 (概略) —

(ア) 施工対象面のホコリやゴミを全面清掃し、凸面がある場合は研磨等により平滑にしてください。

(イ) プライマー(テックス7)原液を100～150g/m²、噴霧器・刷毛・ローラー等で塗布してください。

(ウ) プライマー指触乾燥後、テクノカラーメンテナンス材の調合(練り混ぜ)を行い、コテによりシゴキ塗りをしてください。※塗布厚は必ず1.0mm以下としてください。

(エ) 天候・気温によりますが、屋内で24時間、屋外で48時間以上養生してください。

※詳細な施工方法につきましては、「テクノカラーメンテナンス材施工要領書」をご参照ください。

以上